

春休み米国訪問プログラム

参加生徒3人を激励

警城高



招待状を受け取る中野さん、小畑君、小宅さん
(左から)

NPO法人Hope

for Tomorrow

(田中均代表理事)の

「春休み米国訪問プロ

ラム2013」に参加す

る、警城高の生徒3人へ

の激励会が9日、同校で

行われた。

同法人は高校生が震災

で希望を失わず、抱いた

夢に向かって歩む応援を

しようと立ち上げられ

た。活動の一環として、

アメリカの名門大イエー

ル大の学生と、警城高の

生徒が、インターネット

電話サービスのスカイ

プを使って交流する「ス

年1月からスタートし
ことになった。

この試みは、同法人理

事の石村雅子さんと、吉

田実貴人市議がプライス

ウォーターハウスクーパー

の同僚だった縁で実

現し、法人が学校にパン

コンセットを寄贈した。

意欲的な生徒たちが連

日、同大生と交流を深め

ながら、英語力を高めて

いる。

今回のプログラムは、

インターネットを介して

話している学生と直接会

ってもらうとともに、さ

まざまな交流を通して、

将来への糧にしてもらお

うと企画。作文と面接に

より参加生徒を選抜し、

小畑俊貴君、小宅真理、

中野夏海さん(いずれも

参加。一行は30日、日本
を出発し、ニューヨーク

へ。同スクールの生徒宅

にホームステイし、同ス

クールに通い、通常の授

業を受けるほか、震災体

験をスピーチする。また、

イエル大で、ポランテ

ィアでスカイプセッション

に協力している学生た

ちと対面する。

星浩次校長が「この機

会を自分のものにし、大

きな視点で物事を考え

てほしい」と激励した。

小畑君は「たくさん学

び、将来の自分に生かし

たい」、小宅さんは「震

災があったからこそこの機

会と心に留め、頑張りた

い」、中野さんは「支え

てくれる人たちの思いと

一緒に楽しみたい」と決

意表明した。

プログラムには、岩

手、宮城の高校生3人も